

実際に空き家バンクを利用して空き家を購入し、新しい生活を始められた高松さんご一家にお話を伺いました。

—家を探し始めたきっかけはなんですか？

「大町に移住してきてからこれまで、猫を飼っているのでペット可の賃貸物件に住んでいました。子どもや仕事の関係で生活環境が変わったことで引越しを検討する中、市内はペット可の物件があまりないので賃貸には選択肢が少なく、また、庭のある一軒家で田舎暮らしをすることに憧れていたため、新築することと考えて、土地などを3年くらい前から探し始めました」



—空き家バンクを利用しようと思ったきっかけはなんですか？

「家探しをしていると、土地はなかなか条件に合う場所がありませんでした。そんな中、もともと古着や骨董といった古いものに興味があったので、空き家をリノベーションして住むのもありだと思いい、不動産屋さんや定住促進係が発行する不動産情報もよく見ていました。その中で空き家バンクの欄に、場所と雰囲気によさそうな物件が2件出ていたので、まずは実際に見てみたいと思いい、利用登録しました」

—この物件の決め手は？

「実際に建物や周辺を見て、子どもの通学区のことや利便性、場所の雰囲気がよく、この家での生活のイメージができたことが決め手でした」

—空き家バンクの良さは？

「所有者さんと直接やりとりができるので、やはりお互いの顔が見える安心感が一番だと思います。買手としては、所有者さんの思いが伝わ



るし、所有者さんとしてもどんな人が住むのか直接話すことで分かる部分もあるので、そこが良さだと思いいます。また、購入まで至らなかった物件でも、人とのつながりがで

きることで、不用な小物などをいただいたりもしました。ただ、素人同士の取引になるため、物件の状態を見極めるのが難しく、買ってから予想以上に改修費用がかかりました。可能であれば買う前に建築関係の人などに見てもらった方がいいかもしれません」

—暮らし始めてどうですか？

「周りは静かだし、田んぼが広がっているのどかで、子どもたちも気に入ったのか毎日のように散歩に出掛けます。子育て環境としてとてもいい場所だと感じています」

PROFILE

旦那さん(38)、奥さん(35)
長女ちゃん(4)、次女ちゃん(1)
ねこちゃん3匹
旦那さん長野市出身、奥さん大阪出身。
4年前に東京から移住。現在、夫婦でデザイン制作「design nuts」を運営。

あそびにきてね〜



中心市街地の 外観目視調査を 実施！

市は、東京大学・信州大学と「空き家を活用したまちづくり」を主題とした共同研究事業を行っています。その事業の一環として、7月16日・17日の2日間で中心市街地約105ha(信濃大町駅〜大黒町付近)の空き家外観目視調査を行いました。住宅や店舗1592件を一軒一軒、外からチェックして回ると、見た目で空き家と思われる物件が276件確認されました。

今後は実際に空き家かどうかの確認、所有者さんの意向確認などを行い、活用へとつながる取り組みを行うべく予定です。

